

医学部専門予備校 クエスト 解答速報

聖マリアンナ医科大学（医）後期 英語 試験日3月6日（木）



【講評】

形式・難易度ともに前期同様。しっかりとした読解力を持っているかを問う正統派な記述式問題が中心。「ちゃんと読んでちゃんと答える」という「正統」な取り組み方を基本に据えつつ、最低限の対策としては以下のことを授業担当の講師に確認した上で臨もう。

- ・解答用紙の行数がどれくらいだったら、完答するためにはどれくらいの要素が必要なのか
- ・文字数制限のある記述の場合は、何文字につき完答するための要素が1つ増えるのか
- ・文字数制限がある場合は、最低どれくらいを記述しないとイケないのか

1

[1] 人間は否定的な感情どころか肯定的な感情を表現するためにも大きな声で叫ぶというのは明らかのように思われるのに、科学的な研究はほとんどの場合否定的な感情にしか注目してきていないということ。

[2] d

[3] 叫びを引き起こした感情を特定しながら、自分たちの叫び声を録音した。そして、どんな状況ならどういった反応をするかといった筋書きを考案し、その再現を試みるとともに、実際に研究に着手する6つの叫び声を決定した。

※下線の引かれた情報が全部入って完答。

[4] 研究対象に実際に痛みや恐怖を与えることは倫理的に受け入れられないから。

[5]

(a) a

(b) 警戒を要しない肯定的な感情を含む叫び声を最も早く特定できるようになり、否定的なものについてはより時間がかかった。同様の結果がfMRIによる脳の調査でもわかった。

※下線の引かれた情報が全部入って完答。

[6] d

[7] c

2

1. a d
2. c
3. a
4. b
5. d
6. b

3

- I.
 1. (A)d (B)b
 2. (C)a (D)b
- II.
 1. (1)a (2) f (3)h (4)e
 2. b
 3. d